**【出エジプト記9章14節】**

**今度は、わたしは、あなたとあなたの家臣とあなたの民とに、わたしのすべての災害を送る。わたしのような者は地のどこにもいないことを、あなたに知らせるためである。**

**神様の視点で考えましょう**

神様がエジプトに下した災いの目的は、人を殺し、国を滅ぼすことではありませんでした。

神様を悟り、神様のみ声を聞いて、災害時であってもみ言葉を従って従順し、命を保たせることにありました。
神様のみ言葉を聞いて従うなら、生きることができ、命が助かることを知っていながらも、

従わないならことは、本当に愚かなことです。

信仰は冒険なのです。
先の見えない切り立った崖で、「歩きなさい」と主から命じられたなら、歩くことです、

それがまさに信仰であり、従順なのです。

しかし、進めない理由は、私たちの考え、価値観がこの世と合わせられているからです。

神様をこの世の考え、目で見てしまうからです。

ですから、神様の視点で見始めることが、信頼の始まりです。

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるもだからです。

神様は神を愛し、信じて、頼る民を一度も飢えたり、ぼろをまとったりするようなことをさせる方ではありません。

その神様が絶対に頼り、信じ、どのような状況でも、完全に主に従うことが信仰なのです。

また、全知全能の神様を、私たちの物差しとして解釈しようとすることがないようにしましょう。神様は完全なる方であります。その方を信じて従うとき、神様の奇跡が私たちを覆うことを信じることが信仰です。

神様の視点で見て、真の信仰によって、絶対的従順するアガペチャーチの家庭になることをイエスの御名で祝福します。